



### お知らせ

9月30日の映画音楽は台風のため中止しました。12月15日（土）に実施予定です。

### ●10月のイベント予告

#### (1) シネマサロン 「市民ケーン」 (オーソン・ウェルズ監督・主演・脚本)

世界中の映画人から「映画の歴史上もっとも優れた作品」として評価が高い「市民ケーン」を、前川和明氏が語ります。前川氏は、元ヘラルド興行に長年勤務し、そのかたわら自主映画上映サークル（シネマランド）を運営されたという大の映画フリークです。前川氏もNo.1と認めかつ熱列に愛するこの作品を語ることを大変楽しみにしておられ、着々と準備を重ねられています。謎の言葉「バラのつぼみ」をキーワードにして、この映画の魅力を紐解いていきます。ふるってご参加ください。

日時：10月21日（日）午後4時開演 参加費 1,500円 \*予約優先

#### (2) 蓄音機コンサート 特集「クラシック」 解説：高山善樹氏

久しぶりのクラシック特集で、すでに数回解説をお願いしている高山氏の登場です。クラシック音楽のウンチクを語らせたらこの方の右に出る人はそうはいないでしょう。（実はジャズにも詳しいのですが…）今回は、来日したアーティストたちの名演をたっぷり聞いていただくという趣向で、更にその中から、録音が良いものを選んであるとのことなので、楽しんでいただけることは間違いありません。

日時：10月28日（日） 午後4時開演 参加費 1,500円 \*予約優先

### ●「真夏の夜のジャズ」8/25 報告

ジャズの歴史上最も偉大な2人（チャーリー・パーカーとビリー・ホリデイ）の名演を3曲ずつ紹介した後、アニタ・オデイ、セロニアス・モンク、カウント・ベイシーなどの代表的名演が続きました。解説の井上氏は軽妙な語り口で、途中で「お勉強」と称してブルースの特徴や形式をわかりやすく説明されました。ブルースについては、何となく解ったつもりでいた人が多いと思いますが、黒人奴隷という悲しい状況の中から生まれたことや、黒人独特のブルース音階が基本になっているという指摘には納得させられました。井上氏は熱がこもりすぎて時間オーバー。最後のサッチモとジャック・ティーガーデンの掛け合い「ロッキング・チェア」を聴くことができず残念でしたが、多くのアーティストの名演に酔いしれ、真夏の夜のジャズを堪能できたことは間違いありません。